

しょうがくせい ちゅうがくせい みな  
★ 小学生・中学生の皆さんへ ★

さっぽろしきょういくしんこうきほんけいかく かいいていばん  
札幌市教育振興基本計画《改定版》

いけんしゅう  
キッズコメント意見集

いけん さっぽろしきょういくいいんかい かんが かつ  
～いただいたご意見と札幌市教育委員会の考え方～

さっぽろしきょういくいいんかい  
札幌市教育委員会では、2019年度からの5年間で、札幌市の教育をどのようにすす  
ていくのかということについてまとめた「札幌市教育振興基本計画《改定版》」の案を  
つくり、2018年12月20日から2019年1月18日までの期間、その案に対する皆  
さんからのいけん ぼしゅう  
ご意見を募集しました。

しりょう みな  
この資料は、皆さんからいただいたご意見の概要と、その意見に対する札幌市教育委  
員会のかんが かつ  
考え方をまとめたものです。

みな  
皆さんからいただいたご意見は、どれも素晴らしく、さんこう  
参考になるものばかりでした。  
さっぽろしきょういくいいんかい さっぽろし きょういく みな  
札幌市教育委員会は、札幌市の教育が、皆さんにとってよりよいものになるように、  
さまざま とりくみ すす  
様々な取組を進めていきます。

ぜんぶ にん けん  
全部で148人から468件のご意見をいただきました！

がくねんべつうちわけ  
学年別内訳

がくねん 学年	しょうがくせい 小学生		ちゅうがくせい 中学生			ふめい 不明	ごうけい 合計
	ねんせい 5年生	ねんせい 6年生	ねんせい 1年生	ねんせい 2年生	ねんせい 3年生		
にんすう 人数	8人	98人	9人	20人	13人	0人	148人
けんすう 件数	23件	292件	45件	60件	48件	0件	468件

※ 「ご意見記入用紙」1枚につき「一人」と数えています。そのため、ばんやグループで意見をまとめてご提出し  
ていただいた場合も「一人」と数えています。

～保護者の皆様へ～

この資料は、「札幌市教育振興基本計画《改定版》」の案に対し、子ども  
たちから寄せられたご意見の概要と、それに対する札幌市教育委員会の考え  
方をまとめたものです。ぜひ、お子様とご一緒にお読みください。

なお、大人の方々からいただいたご意見と、それに対する札幌市教育委員  
会の考え方は、下記ホームページにてご覧いただけます。

◆ <http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/keikaku/ikenbosyu.html>

札幌市教育振興基本計画 パブリックコメント 検索



だい しょう さっぽろしきょういくしんこうきほんけいかく  
**第1章 札幌市教育振興基本計画について**

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
1	計画の策定及び改定の趣旨等	
	意見なし	
2	計画の位置付け	
	意見なし	
3	計画の構成と計画期間	
	意見なし	

だい しょう きょういく と ま げんじょう  
**第2章 教育を取り巻く現状**

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
1	教育を取り巻く社会経済情勢	
	意見なし	
2	国における教育目標・教育政策の動向	
	意見なし	

だい しょう さっぽろしきょういく  
**第3章 札幌市教育ビジョン**

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
1	札幌市の教育が目指す人間像	
1	「自立した札幌人」の実現のために、この計画にある施策をがんばって進めてほしい。 (類似意見1件)	札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」を実現するため、三つの大きなめあて(基本的方向性)に沿って様々な取組を進めていきます。
2	「自立した札幌人」になるには、教育基本法に基づいて生活をしていくことが大切である。	教育基本法は、日本の教育の目標などを定めた法律です。今後も、この法律に基づき、様々な取組を進めていきます。
3	人に頼るばかりではなく、自分から行動することが本当の自立だと思う。また、様々な人と共に支え合い、助け合うことは大切である。 (類似意見3件)	札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」には、一人の人間として「自立」するとともに、他者を尊重し、支え合いながら生きていくという「共生」の思いをもった人に育てほしいという願いを込めています。
4	「自立した札幌人」には、札幌市外から転校してきた子どもも含むと思うため、差別がなくてよい。	札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」は、札幌で生まれた人だけではなく、札幌の豊かな自然や社会、文化の中で、学び、生活した経験のある人全員を対象としています。

No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいいんかい かんが かな
<b>1 札幌市の教育が目指す人間像 (続き)</b>		
5	札幌からほかの都市へ移る人もいるが、札幌の自然や文化を大事にしながら、活躍してくれたら嬉しい。	札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」は、札幌に住んでいる人だけでなく、札幌に働きに来ている人や学びに来ている人、札幌からほかの地域へ移っていく人なども対象としています。
6	札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」を見て、今の自分について考えるよい機会となった。	自分の姿を見つめ直すことは、皆さんの成長にとって大切です。教育委員会でも、取組を見つめ直しながら、札幌市の教育をより充実させることができると考えていきます。
7	この計画案を読んで、「自立した札幌人」になるために、日々どのように過ごしたらよいのかを考えることができた。	目標の実現に向けて、何をすべきかを考えることは、皆さんの成長にとって大切です。教育委員会でも、皆さんがよりよく成長するためにはどのようなことに取り組むとよいか考えていきます。
<b>2 基本的方向性</b>		
8	基本的方向性1にあるとおり、「自ら学び、共に生きる力を培う学び」を推進することは、大切である。 (類似意見1件)	札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」を実現するために、皆さんが自ら進んで学び、周りの人々と協力しながら生きていく力を高めることができるよう、様々な取組を進めていきます。
9	基本的方向性1で、どのようにして、子どもに様々な力を育むのか知りたい。	皆さんの「学ぶ力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育むため、皆さんが「分かる・できる・楽しい」と思うことができる授業づくりをしたり、札幌の豊かな環境を生かした体験的な活動をしたりするなど、今回策定した「札幌市教育振興基本計画〈改定版〉」に沿って、様々な取組を進めていきます。
10	基本的方向性1で、「自ら学び」とあるが、ほかの人からも学んだほうがよい。	「自ら学び」には、自分で学ぶことはもちろんですが、例えば、先生や友達など、自分以外の人から学ぶことも含んでいます。
11	基本的方向性2「多様な学びを支える環境の充実」とあり、子どもだけではなく、お年寄りの方も学ぶことができる環境は大切である。 (類似意見1件)	学校を卒業した後でも、あらゆる年代の人が、学びたいことをいつでもどこでも学ぶことができるような環境づくりを進めていきます。

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
2	基本的方向性 (続き)	
12	基本的方向性2の説明文では、「市民一人一人が、多様なニーズに応じた学びの機会を得ることができるよう」とあるが、地域の人々がどのようなことを学びたいのか知りたい。	地域の方々は、健康やスポーツ、仕事、家事に 関係することなど様々なことを学んでいます。 今後も、市民の皆さんが学びたいことを身近な 地域で学ぶことができるような環境づくりを 進めていきます。
13	基本的方向性3「市民ぐるみで支え合う仕組みづくり」とあるが、「市」よりも規模が小さい「区」を単位としたほうがよい。	「市民ぐるみ」には、「札幌市全体」だけでなく、 「区」や「校区」などの様々な単位の地域にお ける支え合い、という意味を含んでいます。
3	札幌市教育ビジョンの全体像	
	意見なし	

## 第4章 札幌市教育アクションプラン (後期)

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
1	札幌市教育アクションプラン (前期) の振り返り	
	意見なし	
2	札幌市教育アクションプラン (後期) における重要項目	
	意見なし	
3	札幌市教育アクションプラン (後期) の施策体系	
	意見なし	
4	札幌市教育アクションプラン (後期) の具体的な施策展開	
	基本的方向性1 自ら学び、共に生きる力を培う学びの推進	
	基本施策1-1 自ら学ぶ喜びを実感できる学習活動の推進	
14	自ら学ぶ喜びを実感できる学習活動を推進することはよい。 (類似意見3件)	今後も、皆さんに「学ぶ力」や「健やかな体」 などを育むため、皆さんが学ぶ喜びを実感で きるような学習活動を進めていきます。
15	札幌市が、どのような学習活動を推進するの か分かった。	一つ一つの取組の目的や意義を理解すること は大切です。今後も、皆さんが学ぶ喜びを実 感できるような学習活動を進めていきます。
16	どのような学習を通して、どのような力が身 に付くのかということなどを意識しながら 生活していきたい。	学ぶことの意味を考え、目標をもって生活す ることは大切です。皆さんが自分の学びを振り 返し、身に付いた力を実感できるような学習 活動を進めていきます。

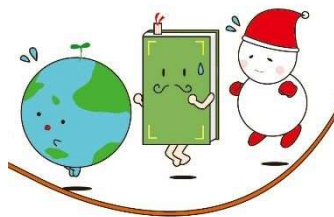


No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいいんかい かんが かなた
基本施策1-1 自ら学ぶ喜びを実感できる学習活動の推進 (続き) きほんしやく 1-1 みずか まな よろこ じっかん がくしゅうかつどう すいしん つづ		
17	国語や算数、社会などの授業では、どのような力を培うのか知りたい。 こくご さんすう しゃかい じゆぎょう どのよう なちから つちか しの	どの教科の授業においても、皆さんが未来に向かって学び続けるために必要な「自ら学ぶ意欲」「基本的・基礎的な知識や技能」「学んだことを生かして考え、判断し、表現する力」の三つをバランスよく育てることを目指しています。 どの きょうか じゆぎょう においても みな 未来に 向かっ て まな づつ けるた めに ひつよう な「みずか まな ぶいよく きほんてき きそてき ちしき ぎのう まな こと をい かして かんが はんだん ひょうげん ちから」の みつ をばらんすよく 育てる こと をめざ して います。
18	札幌の子どもは、ほかの地域と比べて学力や体力が低いため、高める取組をするとよい。 さっぽろ こ どもは、 ほかの ちいき くら がくりやく や たいりよく ひく ため、 たか とりくみ をすると よい。	学力や体力の高まり方は人それぞれです。ほかの人と比較するのではなく、自ら目標をもって、自分自身の力を高める取組を続けていくことが大切です。今後も、学校と家庭、地域が協力して、皆さん一人一人が自分の可能性を信じて努力し、成長していくことができるよう、支えていきます。 がくりやく たいりよく たか かなた ひと 学力や 体力の 高まり 方は 人それぞれ です。ほかの ひと とひかく するのでは なく、みずか もくひよう をもって、 自分 自身の 力を 高める 取組 をつづけて いく こと がたいせつ です。 今後 も、 がっこう 家庭、 ちいき が 協力 して、 みな ひとりひとり じぶん かのうせい を 信じて どりよく せいちょう していく こと が できる よう、 ささ えて いきます。
19	「分かる・できる・楽しい」の具体的な内容が知りたい。 わ 分かる・ できる・ たの 楽しい の ぐたいてき ないよう が し 知りたい。	先生は、皆さんが「分かる・できる・楽しい」と思えるよう、いつも様々な工夫をしています。例えば、「分かる」では、学校図書館を活用した調べ学習で答えが分かること、「できる」では、少し難しいことに挑戦して成功すること、「楽しい」では、友達と協力したり、ICT機器等の様々な教材や道具を使ったりすること、などがあります。 せんせい は、 みな が「 わ 分かる・ できる・ たの 楽しい 」と おも えるよう、 いつも さまざま な くふう をして います。 例え ば、「 わ 分かる 」では、 がっこう としよかん を 活用 した 調べ 学習 で 答え が わかる こと、「 できる 」では、 すこ し 難し い こと に ちょうせん して せいこう する こと、「 たの 楽しい 」では、 ともだち と 協力 したり、 ICT 機器 等の さまざま な きょうざい どうぐ つか する こと、 など が あります。
20	子どもが「分かる・できる・楽しい」と思うことができる授業をつくるのはよい。(類似意見14件) こ どもが「 わ 分かる・ できる・ たの 楽しい 」と おも う こと が できる じゆぎょう を つくる のは よい。 (るいじいけん 14けん)	今後も、皆さん一人一人が「分かる・できる・楽しい」と思うことができる授業づくりを進めていきます。 今後 も、 みな ひとりひとり が「 わ 分かる・ できる・ たの 楽しい 」と おも う こと が できる じゆぎょう づくり を 進 めて いきます。
21	分かる・できる・楽しい授業にするためには、子どもからアンケートを取り、一人一人に合った授業を行うとよい。 わ 分かる・ できる・ たの 楽しい じゆぎょう に する ためには、 こ どもから アンケート を 取り、 ひとりひとり あ った じゆぎょう を おこな 行う と よい。	分かる・できる・楽しい授業にするためには、皆さんがどのような考えをもっているのかを知ることが大切です。各学校では、日頃からひとりひとりがくしゅうの様子を見て、きめ細かな指導ができるよう、様々な工夫を行っています。 わ 分かる・ できる・ たの 楽しい じゆぎょう に する ためには、 みな が どの よう な かんが え をもって いる のか を し 知ることが たいせつ です。 各 学校 では、 日頃 から ひとりひとり がくしゅう の ようす を 見て、 きめ 細か な 指導 が できる よう、 さまざま な くふう を 行っ ています。
22	分かる・できる・楽しい授業として、機械を見て触って学ぶ「機械学」というような授業があるとよい。 わ 分かる・ できる・ たの 楽しい じゆぎょう として、 きかい を み て さわ っ て まな ぶ 「きかいがく」という よう な じゆぎょう が ある と よい。	実際に本物を見たり、触れたり、感じたりするなど体験的に学ぶことは大切です。どの教科でも皆さんが体験的に学ぶことができるよう、学習内容に応じて工夫しています。機械について詳しく学ぶことができる教科は、中学校の技術・家庭科です。機械の仕組みを知るだけでなく、実際に機械に触れたり、操作したりするなど、体験的に学ぶことができます。 じっさい に ほんもの を み たり、 ふ れたり、 かん じたり する など 体験 的に 学ぶ こと は たいせつ です。 どの 教科 でも みな が 体験 的に 学ぶ こと が できる よう、 がくしゅう 内容 に 応じて 工夫 して います。 機械 に ついて 詳しい 学ぶ こと が できる 教科 は、 中 学校 の 技術 ・ 家庭 科 です。 機械 の 仕組み を 知る だけ で は なく、 じっさい に 機械 に 触れ たり、 そうさ し たり する など、 体験 的に 学ぶ こと が でき ます。

No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいんかい かんが きた
基本施策1-1 自ら学ぶ喜びを実感できる学習活動の推進 (つづき) きほんしやく 1-1 みずか まな よろこ じっかん がくしゅうかつどう すいしん つづ		
23	得意な教科について、更に成績を上げるとい きもち きょうか さら せいせき あ う気持ちをもつために、「分かる・できる・楽し い」に加えて、「やりたい」という言葉を足し たほうがよい。	自分から進んで学習に取り組むことは大切で す。分かる・できる・楽しい授業づくりは、皆 さんの学ぶ意欲を育てることもねらいの一つ としています。今後も、皆さんの学ぶ意欲を育 てる授業づくりを進めていきます。
24	授業での発言機会が平等になるようにして ほしい。	自ら進んで意見を発表しようとする気持ち は大切です。また、友達と互いに意見を聞き合 うことで、自分の考えを広げたり、深めたり することができます。授業中の指名は、先生 の考えがあって行っていることとおもいますが、 学級のみんなが活発に意見を出し合える ような授業にしたいという気持ちを先生に伝 えてみてください。教育委員会でも、皆さんが 「分かる・できる・楽しい」と思うことができ る授業づくりを進めていきます。
25	授業で、子ども同士が話し合いをするなどコ ミュニケーションを取る機会を増やすとよい。 (類似意見1件)	授業の中で友達と話し合うことは、自分の考 えを広げたり、深めたりすることにつながるた め大切です。今後も、皆さんが活発に話し合 うことができる場面を多く設けるよう工夫して いきます。
26	障がいのある人だけではなく、障がいのない 人にも一人一人に合った教育をしてほしい。	障がいの有無にかかわらず、一人一人に合っ た学び方を考えることは大切です。各学校で は、皆さんがどのようなことに困っているの か、どのような学び方をするとよいかというこ とについて、先生方が考え、話し合いながら 授業を進めています。
27	一つの学級に、授業で説明する先生と、分か らない子どもに教える先生の二人がいるとよ い。	札幌市の小・中学校では、学級内でグルー プを分けて、複数の先生が子ども一人一人の理 解に応じて教える取組などを行っている学校も あります。
28	授業で使用する教材のバリエーションを増 やしてほしい。	授業で使用する教材については、皆さんが、 より分かりやすく学ぶことができるよう、今後 も、学習内容などに応じて工夫していきます。

No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいいんかい かんが かなが かな
基本施策1-1 自ら学び喜びを実感できる学習活動の推進 (つづき) きほんしやく 1-1 みずか まな よろこ じっかん がくしゅうかつどう すいしん つづ		
29	<p>「算数にーごープロジェクト」のように、担任の先生ではない先生が面白く教えてくれたり、コンピュータを使ったスライドで説明してくれたりする授業を増やしてほしい。 (類似意見1件)</p>	<p>「算数にーごープロジェクト」に限らず、様々な教科等において、ICT機器などを活用した分かる・できる・楽しい授業を行います。また、「算数にーごープロジェクト」では、一つの学級を分けて行うこともあるため、担任の先生以外の先生が教える場合もあります。</p>
30	<p>「算数にーごープロジェクト」のときのクラス分けの意味を教えてください。例えば、自信のある人とない人とで分けると、意見が出しやすくなる。 (類似意見3件)</p>	<p>「算数にーごープロジェクト」は、小学校高学年の算数の授業を少人数で行い、自分から話す機会や、友達と話し合う時間を増やすことで、得意な人も苦手な人も一緒に学びながら、学習意欲を高めることなどを目指して行われています。また、これから先の時代においては、様々な人と関わる力が更に必要となります。皆さんには、様々な人の中でも自分の意見を伝えることができる力を身に付けてほしいと願っています。</p>
31	<p>算数の理解を深めるため、学級内でグループを分けて少人数授業をするとよい。</p>	<p>小学校では、学級内でグループを分けて、複数の先生が子ども一人一人の理解度に応じて教える授業や、高学年の算数の授業を少人数で行う「算数にーごープロジェクト」の取組を進めています。今後も、皆さんが算数の理解を深めることができるような取組を進めていきます。</p>
32	<p>スマートフォンを使っている子どもが多いため、幼児期から相手と顔を合わせて触れ合うことを大切にして、相手を思いやる気持ちを育てるとよい。</p>	<p>幼稚園などでは、子どもが遊びを中心とした生活を通して、身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつことができるような教育活動を大切にしています。今後も、幼児期から、相手を思いやる気持ちを育む教育活動を進めていきます。</p>

No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいんかい かんが かに
基本施策1-1 自ら学ぶ喜びを実感できる学習活動の推進 (続き) きほんしやく 1-1 みずか まな よろこ じっかん がくしゅうかつどう すいしん つづ		
33	体育の授業で扱う競技の種類を増やしてほしい。 たいいく じゆぎょう あつか きょうぎ しゅるい ら	小・中学校9年間の体育の授業では、様々な種類の運動やスポーツを学ぶことができます。同じ種目を行う場合でも、中学校では、小学校での学び方と異なり、ルールや作戦を工夫するなど、取組方に広がりや深まりが出てきます。更に、高校では、自分の興味・関心に応じて種目を選んで学ぶというように発展していきます。皆さんが、このような学習を通じて、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わい、生涯にわたって運動やスポーツを続けていく力を身に付けることができるような授業となるよう工夫していきます。
34	運動の大切さを教えるための保健の授業を増やしたほうがよい。 うんどう たいせつ おし ほけん じゆぎょう ら	保健(保健体育)の授業では、健康の保持増進のため、運動習慣をつくることや実際に運動に親しむことの大切さなどを学びます。皆さんが、学んだことを生かして自分の生活を見つめ直し、改善していけるような授業となるよう工夫していきます。
35	健康づくりや人と人が関わる機会として、地域の運動会を活用するとよい。 けんこう ひと ひと かが きかい ちいき うんどうかい かつよう	皆さんが家族や地域の方々と一緒に運動やスポーツを楽しむことができる機会があることは素晴らしいことです。各学校では、今後も、地域の方々などの協力を得ながら、様々な活動ができるよう工夫していきます。
36	心と体の健康のため、苦手な人でも自ら運動に取り組むことができるようにしたほうがよい。 (類似意見1件) こころ からだ けんこう にがて ひと みずか うんどう	生涯にわたって心も体も健康で、元気に過ごしていくためには、健康三原則と言われる「運動・食事・睡眠」を大切にされた生活を送る必要があります。皆さんがこのことを理解したうえで、自分にできることは何かを考え、日常生活の中で実行する力を身に付けることができるような取組を進めていきます。





No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいいんかい かんが かに
基本施策1-1 自ら学び喜びを実感できる学習活動の推進 (続き) きほんしやく 1-1 みずか まな よろこ じっかん がくしゅうかつどう すいしん つづ		
37	中学校や高校におけるスキー学習について、 すうがいのために防寒着などを準備しなければなら ないなどデメリットが多いため、廃止したほ うがよい。 ちゅうがっこう こうこう がいしゅう がくしゅう すうがい ために ぼうかんぎ などを じゅんび しなければ なら ない など デメリット が 多い ため、 廃止 した ほう が よい。	「雪」は北国札幌の大切な特色の一つです。 雪に親しみ、雪と共生しようとする態度を培 うため、スキー等のウィンタースポーツに取り 組むことは有効です。今後も、事故防止に十分 注意しながら、スキー学習を実施していきま す。なお、スキー学習に向けた保護者の負担 軽減のため、リサイクルスキー用具の配布を取 り組んでいますので、札幌市公式ホームページ などで確認してみてください。 ゆき きたくに さっぽろ たいせつ とくしょく ひとつ ゆき に しみ、 ゆき と きょうせい しよう とする たいど を つちか う ため、 スキー 等の ウィンタースポーツ に 取り く む こと は 有効 です。 今後 も、 事故 防止 に 十分 ちゅうい しながら、 スキー 学習 を 実施 して いくま す。 なお、 スキー 学習 に向け た 保護者 の 負担 けいげん の ため、 リサイクル スキー 用具 の 配布 に 取 り ぐ ん で います の で、 さっぽろ 市 公式 ホームページ などで 確認 して みて ください。
38	子ども一人一人のアレルギーの内容が分かる ようにしたほうがよい。 こ ひとりひとり の アレルギー の 内容 が 分かる ように した ほう が よい。	アレルギーの内容について、周りの人が分かっ ていることは大切です。各園・学校では、皆さ んの保護者から教えてもらったアレルギーの 内容について、先生方がしっかりと理解するこ とで、皆さんが毎日を安全に過ごすことができ るように心がけています。 アレルギー の 内容 について、 まわりの 人 が 分か っ ている こと は 大切 です。 各園 ・ 学校 では、 皆さ ん の 保護者 から 教えて もら った アレルギー の 内容 について、 先生 方 が しっか り と 理解 する こと で、 皆さん が 毎日 を 安全 に 過ごす こと が でき る よう に 心 が けて います。
39	理科の授業における「予想→観察・実験→考 察」という学び方を大切にしたい。 (類似意見5件) りか の じゅぎょう における 「予想 → 観察 ・ 実験 → 考 察」という 学び 方 を 大切 に したい。 (類似意見 5 件)	理科の学習で大切な「予想→観察・実験→考 察」という学び方は、物事を論理的に考える 力を身に付けるのに有効です。今後も、皆さ んがそうした力を身に付けることができるよ うな取組を進めていきます。 りか の 学習 で 大切 な 「予想 → 観察 ・ 実験 → 考 察」という 学び 方 は、 物事 を 論理的 に 考える 力 を 身 に 付ける の に 有効 です。 今後 も、 皆さ ん が そう した 力 を 身 に 付ける こと が でき る よう な 取組 を 進め て いきます。
40	理科の学習をもっと楽しくするため、計画的 に実験をしたり、校外で調査したりすることは 効果的である。 (類似意見1件) りか の 学習 を もっと 楽しく する ため、 計画的 に 実験 を し たり、 校外 で 調査 し たり する こと は 効果 的 である。 (類似意見 1 件)	自然に対する考えをもつために、様々な実験 をしたり、校外で自然を観察したりすることは 大切です。今後も、理科の学習における観察・ 実験の充実にに向けた取組を進めていきます。 しぜん に対する かんが え を もつ ため に、 さまざま な 実験 を し たり、 校外 で 自然 を 観察 し たり する こと は 大切 です。 今後 も、 理科 の 学習 における 観察 ・ 実験 の 充実 に 向け た 取組 を 進め て いきます。
41	職業体験の機会を増やしてほしい。 しよくぎょうたいけん きかい を ふ ぞ や し て ほ しい。 (類似意見1件)	皆さんが自分の進路を決めるために、様々な 職業を体験することは大切です。今後も、 地域や企業などの協力を得ながら、職業体 験の機会を充実させていきます。 皆さん が 自分 の 進路 を 決める ため に、 さまざま な しよくぎょう を 体験 する こと は 大切 です。 今後 も、 地域 や 企業 など の 協力 を 得 ながら、 職業 体 験 の 機会 を 充実 させ て いきます。
42	将来の夢をはっきりさせるために、今までに なかった新しい職業なども授業で扱って ほしい。 (類似意見1件) しょうらい の ゆめ を はっきり さ せる ため に、 今ま で に な かった 新しい 職業 など も 授業 で 扱 っ て ほ しい。 (類似意見 1 件)	今後も、学校の授業や学校外の活動において、 新しい職業を含めた様々な職業につい て、幅広く学んだり、調べたり、体験したりす る取組を充実させていきます。 今後 も、 学校 の 授業 や 学校 外 の 活動 において、 新しい 職業 を 含め た さまざま な 職業 につい て、 幅広く 学ん だり、 調べ たり、 体験 し たり す る 取組 を 充実 させ て いきます。
43	大人の人に学校に来てもらい、就いている仕事 の内容などを教えてもらっているが、今後は近 い年代の人とも交流したい。 (類似意見1件) おとな の 人 に 学校 に 来て もら い、 就 いて いる 仕事 の 内容 など を 教えて もら っ ている が、 今後は 近 い 年代 の 人 と も 交流 し たい。 (類似意見 1 件)	自分の成長を振り返ったり、近い将来の目 標を見付けたりすることは大切です。今後も、 異なる校種の子も同士が交流する機会を 充実させていきます。 自分 の 成長 を 振り返 ったり、 近い 将来 の 目 標 を 見付 けたり する こと は 大切 です。 今後 も、 異なる 校種 の 子 も 同士 が 交流 する 機会 を 充実 させ て いきます。

No.	ご意見の概要 いげん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいいんかい かんが かなた
基本施策1-1 自ら学ぶ喜びを実感できる学習活動の推進 (つづき) きほんしやく 1-1 みずか まな よろこ じっかん がくしゅうかつどう すいしん		
44	総合的な学習の時間で、将来のことなどをしっかりと考え、計画を立てることができてよい。 そうごうてき がくしゅう じかん しょうらい しょうらい かんが しら しょうらい いま じぶん せいかつ がくしゅう らい かなた なごため大切です。今後も、皆さんが将来のことなどを考える学習の機会を充実させていきます。	将来のことを考えたり調べたりすることは、今の自分の生活や学習を振り返ることにもつながるため大切です。今後も、皆さんが将来のことなどを考える学習の機会を充実させていきます。
45	学校全体での行事も大切だが、学年ごとや子ども一人一人のレベルに合った活動を大切にすべきである。 がっこうぜんたい ぎょうじ たいせつ がくねん こ ひとりひとり あ かつどう たいせつ べきである。 るいじいけん けん (類似意見1件)	皆さん一人一人が達成感や充実感を味わうことができるよう、今後も、行事や学習活動の行い方を工夫していきます。
46	朝読書の取組方について、きまりをつくとよい。 あさどくしょ とりくみかた	朝読書をどのように取り組むかは各学校で決めています。皆さんの読書活動をより充実させるために、先生や友達と、きまりをつくることについて話し合ってみてください。
47	子どもが積極的に図書館に行くように、学校図書館だけでなく、図書館を利用した授業を増やしたほうがよい。 こ せっきよくてき としょかん い がっこう としょかん としょかん りよう じゅぎょう ふ 増やしたほうがよい。 るいじいけん けん (類似意見1件)	一部の学校では、図書館を活用した授業を行っています。学習する場所については、学習内容・効果、児童生徒の人数、移動時間・手段など、様々なことを考えなければなりません。今後も、こうしたことを考えながら、皆さんにとって、よりよい授業となるよう工夫していきます。
基本施策1-2 共に生きる喜びを実感できる学習活動の推進 きほんしやく 1-2 とも い よろこ じっかん がくしゅうかつどう すいしん		
48	命はかけがえのないものであるということを理解するために、どのような機会が設けられているのか知りたい。 いのち りかい きかい ちゆう いるのか知りたい。 るいじいけん けん (類似意見5件)	各学校では、2学期が始まってからの1か月間を「子どもの命の大切さを見つめ直す月間」として、授業や児童会・生徒会活動などを通して、命の大切さについて改めて皆さんに考えてもらう取組を進めています。今後も、道徳科をはじめ、様々な教科等の授業や学校生活等を通して、皆さんが命はかけがえのないものであるということを理解し、命を尊重できるような取組を進めていきます。
49	いじめをなくすために、道徳の授業を増やしたほうがよい。 いじめをなくすために、道徳の授業を増やしたほうがよい。 るいじいけん けん (類似意見2件)	ほかの人を思いやったり、大切にしたりすることは素晴らしいことです。今後も、道徳科をはじめ、様々な教科の授業や学校生活等を通して、いじめをなくすための取組を進めていきます。

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
基本施策1-2 共に生きる喜びを実感できる学習活動の推進（続き）		
50	命の大切さを理解してもらうために、学校にピオトープを作ったり、飼育活動に取り組んだりするとよい。 (類似意見10件)	理科の学習でメダカやコオロギを実際に飼育したり、学校によってはピオトープを整備したりすることなどを通して、皆さんが命の大切さを実感することができるようにしています。
51	生活に苦しんでいる人がいることなどを学ぶことを通して、命の大切さを理解するとよい。	道徳科や社会科などの授業で、様々な困難を抱えている人々について考えたり、学校生活で友達と協力して活動したりすることを通して、皆さんが、命や、ほかの人を思いやることの大切さを実感することができるようにしています。
52	小学校段階から、選挙の仕組みや投票の重要性を教えたほうがよい。	選挙権年齢（投票に参加できる年齢）が「20歳以上」から「18歳以上」に引き上げられたことから、小学校段階から選挙について学ぶことはますます重要となっています。現在でも、例えば、小学6年生の社会科において、国会などの議会政治や選挙の意味について学習しています。今後も、札幌市選挙管理委員会と協力して「せんきよ体験授業（模擬投票を行う授業）」を行うなど、小学生が選挙について分かりやすく学ぶことができるよう工夫していきます。
53	世界の平和や環境について考えるために、道徳の授業を充実するとよい。	他国の人々や文化について知り、世界の平和や環境保全について考えることは、素晴らしいことです。今後も、道徳科をはじめ、様々な教科等の授業や学校生活等を通して、皆さんが国際的な視野をもって、考え、行動しようとする態度を身に付けることができるような取組を進めていきます。
54	豊かな人間性や創造力を育むためには、自然を活用した授業をするとよい。 (類似意見2件)	各園・学校では、札幌の恵まれた自然環境を生かして、生活科や理科などの授業を行うとともに、遠足や宿泊学習等でも自然に親しむ体験活動を積極的に取り入れています。今後も、自然と関わる体験を大切に授業を行っていきます。

No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいいんかい かんが かな
基本施策1-2 共に生きる喜びを実感できる学習活動の推進 (つづき) きほんしやく とも い よるこ じっかん がくしゅうかつどう すいしん つづ		
55	自然と触れ合う機会を増やすため、植物を観察するなど、自然を生かした活動に取り組むとよい。 (類似意見2件) しぜん ふ あ きかい ふ しょくぶつ かん さつ ぜん い かつどう と く るいしいけん けん	自然と触れ合ったり、本物の植物等を見て学んだりすることは大切です。今後も、学校内外における自然体験学習を充実させていきます。 しぜん ふ あ ほんもの しょくぶつとう み まな だりすることはたいせつ こんご がっこうないがい における自然体験学習をじゅうじつ じゅうじつ
56	学級で飼育する生き物を、みんなで決めるとよい。 (類似意見1件) がっきゅう しいく い もの しいく もくてき	学校で飼育する生き物は、飼育する目的や授業の内容、地域の気候や環境等を考え、先生方が話し合っていて決めています。学校で生き物を飼育する目的などを皆さんにしっかりと伝えながら、愛情をもって大切に育てることができるようになります。 がっこう しいく い もの しいく もくてき じゅぎょう ないよう ちいき きこう かんきょうとう かんが せんせいがた はな あ き がっこう い もの しいく もくてき みな しっかるとつた えながら あいじょう たいせつ そだ ができるようになります。
57	動物や植物の権利を尊重してほしい。 どうぶつ しょくぶつ けんり ぞんちよう	動物や植物は、人間と共に地球上で生きている大切な存在です。学校では、理科や社会科などの授業において、自然環境を守ることに ついて学ぶ機会があります。皆さんには、学んだことを生かして、暮らしの中で自らできることは何かを考え、行動し、自然環境を大切にするとともに、動物を愛護する心を大切にしたいと願っています。 どうぶつ しょくぶつ にんげん とも ちきゅうじょう い たいせつ ぞんざい がっこう では、りか しゃかい かなどの授業において、自然環境を守ることに ついてまな 機会があります。みなさんには、学んだことを生かして、暮らしの中で自らできることは何かを考え、行動し、自然環境を大切にするとともに、動物を愛護する心を大切にしたいと願っています。
58	よい考えをもって行動している友達には、進んで協力すべきである。 かんが こうどう ともだち すず	友達のよい行いに協力することは素晴らしいことです。道徳科をはじめ、様々な教科等の授業や学校生活等において、皆さんが互いのよさを認め、積極的に協力し合うことができるような取組を進めていきます。 ともだち のよい行いに協力することは素晴らしいことです。道徳科をはじめ、様々な教科等の授業や学校生活等において、皆さんが互いのよさを認め、積極的に協力し合うことができるような取組を進めていきます。
59	学級や学年での共同作業を通して、助け合うことの素晴らしさを教えるとよい。 がっきゅう がくねん きょうどうさぎょう とお たす あ こと すば おし	学校生活の様々な場面で、子ども同士が関わ る活動を多く取り入れることにより、皆さんが、友達を思いやることや、互いに助け合うことの大切さを実感できるようにしています。 がっこうせいかつ さまざまな ばめん で、子ども同士が関わり合う活動を多く取り入れることにより、皆さんが、友達を思いやることや、互いに助け合うことの大切さを実感できるようにしています。
60	目上の人とのコミュニケーションが苦手なので、様々な人と支え合って、一緒に生きようとする態度を身に付けたい。 めうえ ひと コミュニケーションが苦手なので、様々な人と支え合って、一緒に生きようとする態度を身に付けたい。	道徳科をはじめ、様々な教科等の授業や学校生活等を通して、皆さんが、互いを大切にし、支え合いながら、共によりよく生きようとする態度を身に付けることができるような取組を進めていきます。 道徳科をはじめ、様々な教科等の授業や学校生活等を通して、皆さんが、互いを大切にし、支え合いながら、共によりよく生きようとする態度を身に付けることができるような取組を進めていきます。

No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいいんかい かんが きた
基本施策1-2 共に生きる喜びを実感できる学習活動の推進 (続き) きほんしやく とも い よろこ じっかん がくしゅうかつどう すいしん つづ		
61	障がいのある人など社会の様々な人と実際に あ 会って、支え合うことを学ぶ機会がほしい。 (類似意見1件) しょうがいのあるひとなどしゃかいのさまざまなひとじっさいに あいて、ささえあうことをまなぶ機会がほしい。 (類似意見1件)	社会には様々な人がいることを理解し、互いに 尊重し支え合いながら生きていくことは大切 です。今後も、障がいのある人のほか、例え ば、外国やアイヌ民族の方々と交流する機会 などを充実させていきます。 しゃかいにはさまざまな人がいることをりかいしたが そんちようささえあひながら生きていくことはたいせつ です。今後、しょうがいのあるひとのほか、たと えば、がいこくやアイヌ民族の方々とこうりゅうする機会 などをじゅうじつ を充実させていきます。
62	障がいのある人と関わる機会が少ないため、 がっこうに来てもらって、話を聞いてみたい。 しょうがいのあるひととかがかきかいがすくないため、 がっこうきに来てもらって、はなしを聞いてみたい。	特別支援学校で学んでいる子どもが、住んでい る地域の学校(小学生なら小学校、中学生なら 中学校)で学ぶ「地域学習」という取組を 行っています。一緒に活動することで、どの ようなことに困っているのか、また、どのよう なことが楽しいのかなど、様々なことに気付く ことができます。 とくべつしえんがっこうで学んでいる子どもが、す んでいる地域の学校(小学生ならしょうがくせい、中 学生ならちゅうがくせい)で学ぶ「地域学習」とい うとぐみを おこなっています。一緒に活動することで、どの ようなことにま 困っているのか、また、どのよう なことがたの 楽しいのかなど、さまざまなことにきづ くことができます。
63	授業の一環として、地域のごみ拾いをすると よい。 (類似意見1件) じゅぎょうのいっかんとして、ちいきのごみひろ いとよい。 (類似意見1件)	毎年6月25日の前後2週間で「さっぽろっこ 環境ウィーク」とし、全ての園・学校が環境 に関わる取組を行っています。この取組の 一環として、地域のごみ拾いをすることを、 学校の先生や生活委員会等に提案してみても ください。 まいとしがつにちぜんごのしゅうかん を「さっぽろっこ かんきょうウィーク」とし、すべてのえん・がっこうがかんきょう に関わるとぐみを おこなっています。このとぐみの いっかんとして、ちいきのごみひろ いとよい。 がっこうのせんせいやせいふく委員会等にていあん を おこなってください。
基本施策1-3 ふるさと札幌のよさを生かした、豊かな創造力を育む学習活動の推進 きほんしやく さっぽろ ふるさと 札幌のよさを生かした、ゆたかなそうぞうりょくをほぐくがくしゅうかつどう すいしん		
64	創造力を生かせる仕事もあると思うため、創 造力を育む取組はよい。 そうぞうりょくを生かせるしごともあるとおも うため、そう ぞうりょくをほぐく とぐみ を育むとぐみはよい。	豊かな創造力を育むことができるよう、今後 も、札幌の特色を生かした学習活動を進めて いきます。 ゆたかなそうぞうりょくをほぐく とぐみ を育むことができるよう、今後 も、さっぽろのとくしよくを生かしたがくしゅうかつ どうをすす めていきます。
65	札幌らしい特色ある学校教育のキャラクタ ーに込められた意味を知ることができてよか った。 さっぽろらしいとくしよくあるがっこうきょういく のキャラクタ ーにこめられたいみを知ることができてよか った。	皆さんが「雪」「環境」「読書」に関わる学習 に親しみをもって取り組むことができるよう、 今後も、様々な場面で「ゆっぼろ」「ちっきゅ ん」「おっほん」が活躍します。 みなさんが「ゆき」「かんきょう」「どくしょ」か か がくしゅう にしみをもってとぐむことができるよう、 今後、さまざまな場合で「ゆっぼろ」「ちっきゅ ん」「おっほん」がかつやく します。
66	札幌のことも学ぶことも大好きであり、いつも 素敵な学びを提供してくれていることに感謝 している。 さっぽろのこともまなぶことも大好きであり、い つも すてきなまなぶ ていぎょう してくれていることにかんしゃ している。	今後も、皆さんが楽しく学び、ふるさと札幌へ の思いをもつことができるよう、様々な取組を 進めていきます。 今後、みなさんがたの しくまなぶ、ふるさと札幌へ のおもいをもつことができるよう、さまざまなとぐ みをすす めていきます。
67	ふるさとを思う心や人間性を育てるために、 札幌について学ぶ活動をもっと身近なものに するとよい。 (類似意見19件) ふるさとを おも うこころ やにんげんせい をそだ てるために、 さっぽろについてまなぶかつどうをもっとみぢか なものに するとよい。 (類似意見19件)	今後も、皆さんにふるさと札幌を思う心や豊 かな人間性を育むため、総合的な学習の時間 や社会科などの授業において、地域の会社や 工場を見学したり、地域や札幌の歴史につい て調べたりするなど、様々な取組を進めていき ます。 今後、みなさんにふるさとさっぽろを おも うこころ やゆた かな人間性をほぐく ため、そうごうてき がくしゅう のじかん やしゃかい科などのじゅぎょうにおいて、ちいき のかいしゃ やこうじょうを見学したり、ちいきやさっぽろの れきしにつ いてしら べたりするなど、さまざまなとぐみ をすす めていきます。

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
基本施策1-3 ふるさと札幌のよさを生かした、豊かな創造力を育む学習活動の推進 (続き)		
68	札幌市の歴史などをみんなで共有できる時間を増やしたり、雪に関する取組をしたり、地域の人と交流を深めたりして、自分たちで札幌のよさを創り出す活動をしてみたい。	自分から札幌のよさを創り出す活動に取り組むことは、ふるさと札幌への愛着をもったり、理解を深めたりする上で大切です。今後も、皆さんのふるさと札幌を思う心を育むことができるよう、様々な取組を進めていきます。
69	学校周辺の雪かきをすると、運動にもなるのでよい。 (類似意見1件)	雪かきなどを通じて、雪に親しんだり、体を動かしたりすることには大きな意味がありますので、学校の友達や先生に、学校周辺の雪かきについて提案してみてください。なお、教育委員会では、冬休み期間中に雪かきを頑張った児童生徒を表彰する「雪かき汗かきチャレンジ」という取組を行っています。
70	環境について学ぶときは、校外学習の機会をもつ設けるとよい。	本物の植物等を見ながら学習したり、実際に使用されている施設等に行き学習したりすることは大切です。今後も、地域の特色を生かした校外学習や札幌市の施設を活用した環境学習を充実させていきます。
71	授業の一環として、オーケストラを鑑賞したり、芸術に触れたりする機会があるのはよい。	今後も、学校での授業だけではなく、小学5年生が札幌芸術の森美術館などで芸術鑑賞をする「ハロー!ミュージアム」、小学6年生がオーケストラとの演奏体験などをする「Kitaraファースト・コンサート」といったイベントを活用するなどし、皆さんが芸術に触れる機会を充実させていきます。
72	札幌市全体に関する学習だけでなく、「区」に関する学習も多くしたほうがよい。	「ふるさと札幌」に関する学習には、札幌市全体のことはもちろんですが、10に分けられている「区」のことも含まれています。自分の住んでいる区にはどのような特徴があるのか、ほかの区とはどのような違いがあるのかなどを学ぶことで、札幌市全体のことについても理解を深めることができます。今後も、皆さんが、「ふるさと札幌」についてより深く理解できるように授業を工夫していきます。



No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
基本施策1-3 ふるさと札幌のよさを生かした、豊かな創造力を育む学習活動の推進 (続き)		
73	北海道産の食材を使った献立を自分たちで考える学習をしてはどうか。	家庭科の授業で北海道産の食材をどのように料理に取り入れるとよいかということを考える学習を行っている学校や、子どもが考えた北海道産の食材を使った献立を、実際に給食として提供する取組を行っている学校などがあります。また、給食では、北海道産の食材を使った献立を取り入れるなど、地産地消の取組を進めています。
74	道徳の授業で学んだ「文化を大切にしている活動」を頑張りたい。 (類似意見1件)	伝統や文化を大切にして、自ら行動することは素晴らしいことです。今後も、道徳科をはじめ、様々な教科の学習や学校生活等を通して、皆さんがふるさと札幌のよさを実感し、そのよさを生かしながら成長することができるよう取り組んでいきます。
75	日本の伝統・文化を学ぶことができるのは、とてもよい。 (類似意見7件)	日本の伝統・文化を理解することは、そのよさを見つめ直すとともに、世界の一人ひとりの様々な文化や生活習慣、物事の考え方を理解し、尊重することにもつながります。今後も、皆さんが、幅広いものの見方や考え方を身に付けることができるよう、日本の伝統・文化に関わる学習を充実させていきます。
76	国際理解教育は、実際に外国の文化に触れることを通して、様々な国の文化を知ったり、多様な人々がいることを知ったりできるから大切である。 (類似意見10件)	世界には日本と異なる伝統・文化があるということを理解することは大切です。今後も、皆さんが外国の伝統・文化に触れたり、外国の方と交流したりする機会を充実させていきます。
77	外国語指導助手(ALT)を増やしてほしい。	今後も、皆さんが英語に慣れ親しみ、英語によるコミュニケーションに関心をもったり、異文化への理解を深めたりすることができるよう、ALTを活用した授業を充実させていきます。
78	外国語の授業に、少人数指導を導入してほしい。	少人数指導のよい点としては、先生とのやり取りが多くなるということが考えられます。しかし、たくさんの友達とのやり取りが少なくなってしまうことも考えられます。このようなよさと課題を踏まえながら、どのような授業形態とするか考えています。

No.	いけん がいよう ご意見の概要	さっぽろしきょういくいいんかい かんが かな 札幌市教育委員会の考え方
きほんしざく とくべつしえんきょういく じゅうじつ 基本施策1-4 特別支援教育の充実		
79	とくべつ きょういくてきしえん ひつよう こ 特別な教育的支援を必要とする子どもが、 あんしん すす すごす こと が できる よう に して ほ しい。 また、一人一人に 応じた 教育 を する の は よい。 るいじいけん けん (類似意見13件)	とくべつ きょういくてきしえん ひつよう こ 特別な教育的支援を必要とする子どもが、 あんしん すす ひとりひとり あ った 学 び 方 で がくしゅう すること が できる よう、先生 方 が 話 し 合 う など して 様 々 な 工夫 を し たり、学 習 活 動 を し え ん ま な 支援する「学びのサポーター」というボランテ ィア 方 を 活 用 し たり して い ます。
80	つき いっかい いてい とくべつしえんがっきゅう ともだち こうりゅう 月に一回程度、特別支援学級の友達と交 流 す る 機 会 が あり と よい。	とくべつしえんがっきゅう がっこう とくべつしえんがっきゅう 特別支援学級のある学校では、特別支援学級の こ ども たち と 通 常 の 学 級 の こ ども たち が、 いっしょ がくしゅう たり、こ くりゅう たり する 取 組 を 進 め て い ます。各 学 校 で は、特 別 支 援 学 級 の こ も たち の 状 況 に 応 じ て、取 組 の 内 容 や 回 数 な ど を 考 え な が ら 進 め て い ます。
81	とくべつ きょういくてきしえん ひつよう こ 特別な教育的支援を必要とする子どもについ て、そ う だ ん を 受 け て く れ る 人 が い たり、場 所 が あ っ たり する と 安 心 する の で よい。	にしく ちえりあ みなみく 西区にある「ちえりあ」や南区にある「まこ まる」という施設の中に「教育相談室」を開設 し、学 校 生 活 で 困 っ て い る こと など に つ い て 子 ども や そ の 保 護 者 か ら の 相 談 を 聴 き、解 決 に 向 け て 一 緒 に 考 え たり、ア ド バ イ ス を し たり し て い ます。
きほんしざく しょうがい けいぞくてき じはつてき がくしゅうかつどう すいしん 基本施策1-5 生涯にわたる継続的・自発的な学 習 活 動 の 推 進		
82	しみん だれ も が、ま な 学 び たい こと を 学 ぶ こと が でき る よう に な る こと は よい。 るいじいけん けん (類似意見1件)	こんご しみん みな い 今後も、市民の皆さんが生きがいを持ち、ゆた かな人生を送ることができるよう、学 び たい こと を 学 ぶ こと が できる 環 境 づ くり を 進 め て い け ます。
83	としょかん えら ほん しょうかい かつどう おこな 図書館で選んだ本を紹介する活動を行 う と よい。	かくとしょかん としょかんいん が それ それ 工夫 して、 テーマを決めておすすめの本を展示していま す。また、各 図 書 館 が 毎 月 発 行 し て い る 「図 書 館 だより」でもおすすめの本などを紹介してい ますので、ぜひ皆さんの読書活動の参考にして みてください。
きほんしざく いっかんせい れんぞくせい きょういくかつどう じゅうじつ 基本施策1-6 一貫性・連続性のある教育活動の充実		
84	しょうがくせい ちゅうがくせい ちゅうがくせい こうこうせい だいがく 小学生と中学生、中学生と高校生など(大学 生も)による合同の授業やイベントなどを通 して、年代の異なる子ども同士が交 流 する こと は 大 切 だ と 思 う の で、そ う い っ た 機 会 を 増 や して ほしい。 るいじいけん けん (類似意見30件)	ねんだい こと こ どうし こうりゅう 年代の異なる子ども同士が交 流 することは、 かきゅうせい じょうきゅうせい たい あこが き も 下級生が上級生に対して憧れの気持ちをも つことや、上級生が下級生のお手本となるよ うな意識をもつことなどにつながるため大切 です。今後も、こうした機会を充実させてい きます。



No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいいんかい かんが かな
基本施策1-6 一貫性・連続性のある教育活動の充実 (続き) きほんしやく いっかんせい れんぞくせい きょういくかつどう じゅうじつ つづ		
85	小学生同士など、同じ年代の子ども同士が交流することも大切である。 (類似意見2件) しょうがくせいどうし おな ねんだい こども どうしが こうりゆう たいせつ だいせつ (るいじいけん けん)	子ども同士が交流することは、相手のよいところに気づき、お互いを大切にすることや、ものの見方や考え方を広げることにつながるため大切です。今後も、学校内外において、子ども同士が交流する機会を充実させていきます。 こども どうしが こうりゆう することは、 あいて ところに きづき、 たが たが 大切に することや、 もの みかた かんが かな ひろ げる ことにつな がる た め だいせつ 大切です。 今後 も、 がっこう 内外 において、 こども どうしが こうりゆう する 機会 を 充実 さ せて い きます。
86	教育活動を充実させるために、学年や校種が異なる子どもが集まり、話し合ったり、協力したりする機会があるとよい。 きょういくかつどう じゅうじつ たくねん こうしゆ がくねん こうしゆ こと 異なる 子ども が 集まり、 はな あ 話し 合 たり、 きょうりよく 協力 したり する 機会 が ある と よい。	よりよい教育活動の実現のために、皆さんが学年や校種にかかわらず協力してくれることは、頼もしいです。今後も、そのような機会をつくることのできるよう考えていきます。 よりよい きょういくかつどう じつげん の た め に、 みな が 学年 や 校種 にか かわら ず 協力 して くれる こと は、 た ん も し い で す。 今後 も、 その よう な 機会 を つく る こと が でき る よう かんが えて い きます。
87	ほかの学校の先生に授業をしてもらう機会があるとよい。 (類似意見2件) がっこう せんせい じゅぎょう 先生 授業 を し て も ら う 機会 が ある と よい。 (るいじいけん けん)	様々な先生による授業を受けることは、皆さんが学ぶ意欲を高めたり、より専門的な知識や技能を身に付けたりする上で効果的です。学校内はもちろんですが、例えば、中学校の先生が小学校で授業をするような機会も増えるように工夫していきます。 さまざま せんせい による 授業 を 受 ける こと は、 みな が 学ぶ 意欲 を 高 め たり、 より 専門 的 な 知識 や 技能 を 身 に 付 け たり する 上 で 効果 的 です。 学校 内 は もちろん ですが、 た と え ば、 中 学 校 の 先生 が 小 学 校 で 授業 を する よう な 機会 も 増 える よう に 工夫 して い きます。
88	どのようにして、様々な校種の先生同士が協力するのか知りたい。 さまざま こうしゆ せんせいどうし が きょうりよく 協力 する の か 知 り たい。	例えば、小学校と中学校それぞれの先生が、お互いの授業を見合ったり、より分かりやすい授業とするために話し合ったりするなど、先生同士が協力することで、皆さんの成長を支えています。 た と え ば、 小 学 校 と 中 学 校 それ ぞれ の 先生 が、 お 互 い の 授業 を 見 合 たり、 より わ かり や す い 授業 と する た め に 話し 合 たり する など、 先生 同 士 が 協力 する こと で、 みな の 成長 を 支 えて い きます。
基本的方向性2 多様な学びを支える環境の充実 きほんてきほうこうせい たよう まな び ささ かんきょう じゅうじつ		
基本施策2-1 安全・安心で豊かな教育環境づくり きほんしやく あんぜん あんしん ゆた きょういくかんきょう		
89	札幌は教育環境が充実しているので、日々 の学校生活に感謝しながら過ごしていきたい。 さっぽろ きょういくかんきょう じゅうじつ ひび がっこう せいかつ かんしゃ 学校 生活 に 感謝 し なが ら 過 ぎ して い きたい。	今後も、皆さんの多様な学びを支えるため、安全・安心で豊かな教育環境づくりを進めていきます。 今後 も、 みな の 多 様 な 学 び を 支 える た め、 あんぜん あんしん ゆた きょういくかんきょう 安全 ・ 安心 で 豊 かな 教育 環 境 づ くり を 進 め て い きます。
90	安全・安心で豊かな教育環境づくりに取り組むことはよい。 (類似意見1件) あんぜん あんしん ゆた きょういくかんきょう とく 安全 ・ 安心 で 豊 かな 教育 環 境 づ くり に 取 り 組 む こと は よい。 (るいじいけん けん)	皆さんが安心して学ぶことができるよう、安全な学校施設を整備するほか、様々な活動を支援られるよう、使いやすく豊かな教育環境を整えるなど、今後も、安全・安心で豊かな教育環境づくりを進めていきます。 みな が あんしん して 学 ぶ こ と が でき る よう、 あんぜん な 学校 施設 を 整備 する ほ か、 さまざま な 活動 を 支 援 される よう、 使 い や す く 豊 かな 教育 環 境 を 整 える など、 今後 も、 安全 ・ 安心 で 豊 かな 教育 環 境 づ くり を 進 め て い きます。
91	学校を計画的に修理したり、建て直したりすることは大切である。 (類似意見4件) がっこう けいかくてき しゅうり 学校 を 計 画 的 に 修 理 し たり、 た ね 直 し たり する こと は 大切 である。 (るいじいけん けん)	学校は、皆さんが多くの時間を過ごす大切な場所です。今後も、皆さんが安心して学校生活を送ることができるよう、計画的に施設を修理したり、建て直したりしていきます。 がっこう は、 みな が 多 くの 時間 を 過 ぐ す 大切 な 場 所 です。 今後 も、 みな が あんしん して 学校 生活 を 送 る こ と が でき る よう、 計 画 的 に 施設 を 修 理 し たり、 た ね 直 し たり して い きます。

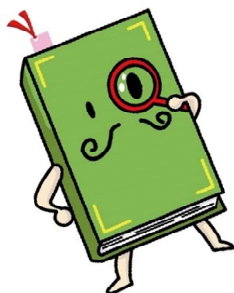
No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
基本施策2-1 安全・安心で豊かな教育環境づくり (続き)		
92	災害対策として、学校などの建物を強化するとよい。	学校施設の災害対策として、大きな地震に耐えることができるように耐震化を実施しています。また、学校施設は、災害時には地域の避難所としても活用されるため、災害時に役立つ設備等を整備しています。災害時にも、皆さんが安心して利用できるように、今後も、様々な検討を進めていきます。
93	学校施設の修理は、休み時間に行うと事故が起きやすいため、騒音に気を付けながら、休み時間以外に行うとよい。	学校施設を修理する際には、皆さんの学習の邪魔にならないようにすることや、事故が起きないようにすることを最優先に考えています。皆さんも、安全のため、修理作業をしているところには近づかないようにしてください。
94	机・椅子など学校の備品を、計画的に修理・更新してほしい。	皆さんが安心して学校で過ごすためには、机や椅子などの備品を安全な状態に保つことは大切です。今後も、計画的に修理・更新していきます。
95	学校の玄関の通路が狭いため、幅を広げてほしい。	学校全体の大きさには決まりがあるため、玄関の通路の幅を広げてしまうと、ほかの教室などが狭くなってしまいます。玄関は、譲り合って仲よく使ってください。
96	学校がもっとよくなるように、自分たちが生活したいと考える学校の設計図を描くような学習をしてはどうか。	学校のことなどの身近な社会について自分の意見をもつことは大切です。今後も、皆さんが地域社会の一員としての自覚をもてるよう、よりよい社会について考える学習活動を進めていきます。
97	先生が体育館の施設点検をして、安全性を確保するとよい。	皆さんが安全に学校施設を使用できるよう、定期的に専門の業者が点検を行うとともに、先生方も日常的に点検を行っています。
98	学校の施設や設備を、使いやすい快適なものにしてほしい。 (類似意見22件)	学校の施設や設備については、皆さんや先生方、保護者や地域の方々などが快適に利用できるように考えて整備をしています。今後も、よりよい学校環境になるよう様々な工夫をしながら整備を進めていきます。

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
基本施策2-1 安全・安心で豊かな教育環境づくり (続き)		
99	学校を建て直すときには、様々な施設と複合化したほうがよい。	皆さんが地域の方々と交流することを通して成長することができるよう、学校を建て替えるときには、児童会館やまちづくりセンターなどの市有施設との複合化を検討しています。
100	学校図書館の機能強化とは、具体的にどういうことか知りたい。	例えば、学校図書館の効果的な使い方を教える学校図書館司書を全ての中学校に配置したり、学校図書館を地域の方々も使えるようにしたり、子どもから大人までの幅広い世代の学びを支える場所にしていきます。
101	インターネットに頼らずに調べ学習ができるよう、新しい本を増やすなど、学校図書館の機能を強化してほしい。 (類似意見3件)	今後も、新しい本を増やすなど、学校図書館の機能が充実するように取り組んでいきます。
102	学校図書館に本がたくさんあるのは、教育委員会の取組のおかげだということが分かった。	今後も、皆さんの学びを支える学校図書館の図書を充実させていきます。
103	学校図書館での本の貸出期間を長くしてほしい。	貸出期間は学校で決めていますので、先生に相談してみてください。
104	読書活動をしている人は増えていないと思うため、学校図書館の本を増やして、子どもからお年寄りの人まで多くの人に本を読んでほしい。 (類似意見2件)	学校図書館は、学校に通っている皆さんが利用していますが、地域の方々も使える「開放図書館」にすることで、小学校に入る前の小さな子どもや大人向けの本を置くことができるようになります。今後も、開放図書館を増やすなど、子どもから大人までの幅広い世代の学びを支える場所にしていきます。
105	学校図書館の機能について、ポスターなどを作って知らせるとよい。	学校図書館を学習などで更に活用してもらいたいと考えています。今後も、学校図書館の機能を強化するとともに、学校図書館が皆さんにとって魅力的な場所になるよう工夫していきます。
106	安心でおいしい給食を提供してくれることはよい。 (類似意見4件)	今後も、皆さんが健やかに成長できるよう、安全でおいしい給食を提供していきます。

No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいいんかい かんが かな
基本施策2-1 安全・安心で豊かな教育環境づくり (続き) きほんしやく あんぜん あんしん ゆた きょういくかんきょう		
107	給食の量をもっと増やしてほしい。 (類似意見3件) きゅうしょく りょう ふ もっと ばふ やして ほしい。	ひとりぶん きゅうしょく りょう た こ ども がくねん 一人分の給食の量は、食べる子どもの学年 における平均的な体格や運動量を考え、一日 に必要な量の約1/3としています。しかし、 ひとりひとりの体格や運動量は違うため、給食 をもっと食べたい人もいます。そういう 場合は、健康に気を付けながら、給食以外 の食事や間食などで、自分に合った量を食べ るなどの工夫をしてみてください。
108	給食で、プリンなどのデザートを出す回数を 増やしてほしい。 (類似意見1件) きゅうしょく だ かいすう 給食で、プリンなどのデザートを出す回数を ばふ やして ほしい。	きゅうしょく こんだて 給食の献立は、エネルギーやたんぱく質など の栄養素を取ることができるよう総合的に考 え、また、様々な料理を食べることができるよ う考えて作成しています。今後も、デザート 類を含めて様々な料理を出すよう工夫してい きます。
109	給食に関わる方々に感謝の気持ちをもてる よう、調理員さんの仕事について知る機会を増 やしてほしい。 きゅうしょく かんが かながた かんしゃ きも 給食に関わる方々に感謝の気持ちをもてる よう、調理員さんの仕事について知る機会を増 やして ほしい。	みな きゅうしょく ようい ちようり 皆さんのために給食を用意してくれる調理 員さんの仕事について知ることは大切です。こ れまでも、栄養士の先生が様々な場面で紹介 するなどして皆さんに伝えてきましたが、今後 もそのような機会が増えるよう工夫してい きます。
110	給食を「一汁三菜」にするとよい。 きゅうしょく いちじゅうさんさい 給食を「一汁三菜」にするとよい。	きゅうしょく こんだて えいようりょう きゅうしょく ひ しょつき しゅ 給食の献立は、栄養量や給食費、食器の種 類などを総合的に考えて決めています。全て の給食を「一汁三菜」にすることは難しい ですが、和食の献立を考えるとときには、いた だいたご意見を参考にします。
111	戦後のように牛乳からしか栄養を取ること ができないわけではなく、日本人で牛乳を 消化し切れる人は少数しかいないと聞いたこ とがあるため、牛乳は給食で提供しなく てよい。 せんご ぎゅうにゅう からしか えいよう と 戦後のように牛乳からしか栄養を取ること ができないわけではなく、日本人で牛乳を しょうか き ひと しょうすう 消化し切れる人は少数しかいないと聞いたこ とがあるため、牛乳は給食で提供しなく てよい。	みな せいちよう たいせつ カルシウムは、皆さんが成長するのに大切な 栄養素です。そのカルシウムを取りやすい 食品が牛乳であることから、給食では毎 日に提供しています。食物アレルギーなどで飲 むことができないのでなければ、ぜひ牛乳を 飲んでください。
112	自分で栄養管理ができるように、小学校高学 年からは給食制ではなく、お弁当制にするこ とよい。 じぶん えいようかんり 自分で栄養管理ができるように、小学校高学 ねん しょうがっこうこうがく 年からは給食制ではなく、お弁当制にするこ とよい。	しょうらいてき じぶん えいようかんり 将来的に自分で栄養管理ができるようになる ことは大切です。給食は栄養バランスを考 えて作られており、給食を通して栄養管理に ついて学ぶことができます。皆さんも、給食 について学ぶことができます。皆さんも、給食 の献立を参考に食事を作るなど、自分で栄養管 理ができるよう取り組んでみてください。

No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいんかい かんが かな
基本施策2-1 安全・安心で豊かな教育環境づくり (つづ) (続き)		
113	給食で使用する食器は、洗う手間や衛生面を考えると、自分用のものを持ち込むことができるようにするとよい。	給食の献立に合わせた食器を持参することは、大変だと思えます。今後も、衛生面などに気を付けながら、学校で用意します。
114	自分の身を守ろうとする態度や安全に行動する力を育む教育は、交通事故防止にもつながるため、進めてほしい。 (類似意見1件)	避難訓練や交通安全教室をはじめ、学校生活の様々な場面で、安全に行動することや危険にあわないよう気を付けることについて学ぶ機会があります。今後も、皆さんが自分の身を守ろうとする態度や安全に行動する力を身に付けることができるようにしていきます。
115	通学路にガードレールを設置して、安全確保をしてほしい。	通学路の安全確保については、今後も、関係機関と連携して、ガードレールの設置などを考えていきます。
116	登下校時の安全のため、スクールガードに見守ってほしい。	皆さんが安全に登下校できるよう、今後も、スクールガードによる見守り活動を進めていきます。
117	安全のため、なるべく家の近い友達と一緒に下校したい。	通学路において、交通事故がよく起こったり、不審者が多く出没したりするところなどがないか点検をするとともに、必要なときには集団下校や方面別下校を行うなど、皆さんが安全に下校することができるよう取り組んでいきます。
118	命を大切にするための災害対策を考えておきたい。	防災意識を高めることは大切です。各学校では、災害が起こったときに、皆さんが自分で危険から身を守ることができるよう、今後も、安全教育を充実させていきます。
119	家から学校が遠い人がいるので、バスなど通学手段を増やしたほうがよい。	学校から家まで2キロメートル以上ある児童生徒の皆さんには、バスでの通学を認める場合があります。ほかの通学手段については、安全面なども踏まえ、今後も考えていきます。

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
基本施策2-2 生涯学習を支える環境づくり		
120	生涯学習センターとは、どのような施設か知りたい。	生涯学習センターは、市民の皆さんがいつでもどこでも学習することができ、また、学習の成果を生かすことのできる社会を目指して作られた施設です。具体的には、まちづくりや仕事に役立つ講座を開いたり、勉強会や発表会を開くための場所を貸出したりするとともに、学びたい人と教えたい人とのつなぎ役になるなど、皆さんの学習活動を支援しています。
121	生涯学習センターと図書館とが協力して、市民が身近なところで学ぶことができるようにすることはよい。	生涯学習センターと図書館は、どちらも子どもから大人までの生涯にわたる学習に利用できる施設です。今後も、市民の皆さんの学びがより深まるよう、これらの施設が互いに協力し、講習会等を行うなどの取組を進めていきます。
122	読書に関する取組は大切なことだと思うため、進めてほしい。 (類似意見 1 件)	学校での教育活動において、朝読書などの「読書」に関する取組を進めてきました。また、「札幌市えほん図書館」や「札幌市図書・情報館」という新しい図書館を開館し、子どもから大人までの誰もが読書に親しむことのできる環境を整えてきました。今後も、市民の皆さんの読書活動を支えていきます。
123	札幌は、様々な場所で本を借りることができ、読書環境が整っていると思う。	今後も、市民の皆さんが読書活動や学習活動に取り組むことができるよう、図書施設を充実させていきます。
124	図書館がより使いやすくなることはよい。 (類似意見 3 件)	皆さんのご意見を参考にしながら、今後も、より使いやすい図書館を目指していきます。



No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいいんかい かんが かが
基本施策2-2 生涯学習を支える環境づくり (つづき) きほんしやく 2-2 しやうがいがくしゅう ささ かんきやう		
125	<p>利用しやすい場所に、読書ができる環境があるとよい。 (類似意見2件) りよう ばしよ どくしょ かんきやう</p>	<p>各区に一つずつある図書館のほか、各区民センター・地区センターにも図書室を設置し、施設間で本のやりとりができるようにすることで、皆さんが、より身近な場所で読みたい本を借りることができるようにしています。更に、電子図書館の本は、インターネットを通じて家でも読むことができます。また、図書館に寄贈された本を学校図書館で使うことができるようにするなど、学校図書館の蔵書数を増やすための取組も行っています。 かくく ひと としょかん かくくみん センター・地区センターにもとしょしつ せつち しせつ かん ほん のやりとりができるようにすることで、みなさんが、よりみちなばしよ でよみたいほん を借りることができるようにしています。更に、電子図書館の本は、インターネットを通じて家でも読むことができます。また、図書館に寄贈された本を学校図書館で使うことができるようにするなど、学校図書館の蔵書数を増やすための取組も行っています。 がっこうとしょかん かんない そうしよく くふう 学校図書館では、館内の装飾を工夫したり、本の紹介に関する展示をしたりするなど、皆さんが利用しやすく、読書への関心を高めることができるよう、今後も工夫していきます。</p>
126	<p>図書館で、歴史の本や参考書をもっと増やしてほしい。 としょかん れきし ほん さんこうしょ ぶん</p>	<p>図書館には、多くの方々に長年読んでもらうことができるように、様々な種類の本を集めて保存する役割があります。学習参考書は、毎年内容が変わるため図書館には置けませんが、歴史の本については、よい本をできるだけ多くそろえるように工夫していきます。 としょかん たくさんの方々に長年読んでもらうことができるように、さまざまな種類の本を集めて保存する役割があります。学習参考書は、毎年内容が変わるため図書館には置けませんが、歴史の本については、よい本をできるだけ多くそろえるように工夫していきます。</p>
127	<p>図書館に、それぞれの学年に薦める本をまとめたブースをつくってほしい。 としょかん がくねん すす ほん</p>	<p>中央図書館では、幼児や小学生向けのコーナーに加え、中学生・高校生向けの本を集めた本棚と読書スペース「ティーンズの森」を設けているほか、図書館入り口付近の展示コーナーでは中学生・高校生が興味をもちそうな「部活」等のテーマでお薦めの本の紹介も行っています。 ちゆうおうとしょかん 幼児や小学生向けのコーナーに加え、中学生・高校生向けの本を集めた本棚と読書スペース「ティーンズの森」を設けているほか、図書館入り口付近の展示コーナーでは中学生・高校生が興味をもちそうな「部活」等のテーマでお薦めの本の紹介も行っています。 また、地区図書館でも「YA(ヤングアダルト)コーナー」等の名称で中学生・高校生向けの本を配架しています。 ちゆうおうとしょかん 幼児や小学生向けのコーナーに加え、中学生・高校生向けの本を集めた本棚と読書スペース「ティーンズの森」を設けているほか、図書館入り口付近の展示コーナーでは中学生・高校生が興味をもちそうな「部活」等のテーマでお薦めの本の紹介も行っています。 また、地区図書館でも「YA(ヤングアダルト)コーナー」等の名称で中学生・高校生向けの本を配架しています。</p>
128	<p>スタンプカードを作るなど、図書館を楽しく利用してもらおうための工夫をするとよい。 としょかん だの</p>	<p>図書館では、読んだ本を記録できる「読書ノート」を配ったり、北海道日本ハムファイターズと共同で読書イベントを開催したりしています。今後も、皆さんが楽しく利用できる図書館となるよう工夫していきます。 としょかん 読んだ本を記録できる「読書ノート」を配ったり、北海道日本ハムファイターズと共同で読書イベントを開催したりしています。今後も、皆さんが楽しく利用できる図書館となるよう工夫していきます。</p>

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
基本施策2-2 生涯学習を支える環境づくり (つづき)		
129	図書館などで、読みたい本を簡単に見つけることができるようにしてほしい。	読みたい本があるときは、パソコンや図書館の検索機で探すことができますが、それでも見付からないときは、図書館員に相談してみてください。中央図書館の1階「こどもの森」には、子ども向けの本に詳しい図書館員がいます。調べものをしたいときは、2階に、お手伝いをする図書館員がいて、メールや電話でも相談することができます。 なお、ほかの図書館・図書室でも、図書館員が本を探してお手伝いをしますので、気軽に声をかけてみてください。
130	図書館が発展することはよいが、学生が勉強できる空間があるとよい。	中央図書館2階の読書室などには、自習できる閲覧席が約120席あります。ぜひ利用してみてください。
131	図書館に、地域の人と交流できるスペースがあるとよい。 (類似意見1件)	図書館において、小・中学生の皆さんを含む地域の方々との交流ができるようなイベントを実施するなどの取組を考えていきます。
132	学校の図書館を地域の人も使うことができるようにするとよい。 (類似意見1件)	一部の小・中学校の学校図書館では、「開放図書館」として地域の方々も使える時間を設けています。今後も、開放図書館を増やすことができるよう考えていきます。
133	生涯学習センターや図書館を、障がいの有無にかかわらず誰もが利用できるとよい。 (類似意見1件)	生涯学習センターでは、障がいのある方と一緒に働くことについて学ぶことができる講座や、身体に障がいのある方が講師となる講座など、障がいに対する理解を深める講座を行っています。また、図書館では、障がいのある方にも利用してもらうことができるよう、施設や設備、資料を整えているほか、障がいのある方を対象とした郵送貸出の実施や、視覚障がいのある方向けのホームページも用意しています。今後も、誰もが利用しやすい施設となるよう工夫していきます。



No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいいんかい かんが かな
基本施策2-2 生涯学習を支える環境づくり (つづき) きほんしやく しょうがいがくしゅう ささ かんきょう		
134	公共施設の使い方のルールを、利用者一人一人にしっかりと伝えてほしい。 こうきょうしせつ つか かな りようしゃひとりひとり ひとにしっかりと伝えてほしい。	公共施設を快適に利用するためには、利用者一人一人がルールを守ることが大切です。例えば、図書館では、利用するとき気を付けてほしいルールを館内に掲示するとともに、開館中は職員が館内を見回って、ルールを守らない利用者がいた場合は注意をしています。もし図書館を利用して気になることがあれば、カウンターの職員に知らせてください。 こうきょうしせつ かいてき りよう りようしゃひとりひとり 一人一人がルールを守ることが大切です。例えば、図書館では、利用するとき気を付けてほしいルールを館内に掲示するとともに、開館中は職員が館内を見回って、ルールを守らない利用者がいた場合は注意をしています。もし図書館を利用して気になることがあれば、カウンターの職員に知らせてください。
基本施策2-3 教職員が力を発揮できる環境づくり きほんしやく きょうしよくいん ちから はつき かんきょう		
135	「教職員が力を発揮できる環境づくり」という施策があってとてもよい。 (類似意見4件) きょうしよくいん ちから はつき かんきょう という施策があってとてもよい。 (類似意見4件)	先生が指導する力を身に付け、皆さん一人一人に向き合いながら質の高い教育活動に取り組むことができるよう、「教職員が力を発揮できる環境づくり」を進めていきます。 せんせい しどう ちから みん ひとり 一人一人に向き合いながら質の高い教育活動に取り組むことができるよう、「教職員が力を発揮できる環境づくり」を進めていきます。
136	先生によって、教える力に差がある。 せんせい おし ちから さ がある。	今後も、皆さんに質の高い教育を提供することができるよう、先生の指導する力などを高める研修を行っていきます。 こんご みな しつ たか きょういく ていぎょう ことができるよう、先生の指導する力などを高める研修を行っていきます。
137	学校の先生も、社会には様々な人がいることをもっと理解したほうがよい。 がっこう せんせい しゃかい さまざまな ひと をもっと理解したほうがよい。	今後も、先生が様々な立場の人々の個性や多様性を認め、それぞれの人権を大切にしたい指導ができるよう、研修を行っていきます。 こんご せんせい さまざまな たちば ひとひと 個性や多様性を認め、それぞれの人権を大切にしたい指導ができるよう、研修を行っていきます。
138	学校の先生が、子どもを理解し、より適切な指導をできるようにしてほしい。 (類似意見2件) がっこう せんせい こ 子どもを理解し、より適切な指導をできるようにしてほしい。 (類似意見2件)	今後も、先生が「子どもの権利条例(札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例)」の考え方に基づき、子どもを理解し、子ども一人一人に寄り添った指導ができるよう、研修を行っていきます。 こんご せんせい こ 子どもの権利条例(札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例)の考え方に基づき、子どもを理解し、子ども一人一人に寄り添った指導ができるよう、研修を行っていきます。
139	先生が、子どもと一対一で向き合って、話を聞いてくれたり、相談に乗ってくれたりするとよい。 せんせい こ 子どもと一対一で向き合って、話を聞いてくれたり、相談に乗ってくれたりするとよい。	先生は日頃から皆さんの様子を見ていて、気になることがあれば声をかけるなどして、話を聞いたり、相談に乗ったりしています。今後も、研修などを通して、先生が子どもを理解し、悩みや困りに適切に対応できる力を高めています。 せんせい ひごろ みな ようす み 気になることがあれば声をかけるなどして、話を聞いたり、相談に乗ったりしています。今後も、研修などを通して、先生が子どもを理解し、悩みや困りに適切に対応できる力を高めています。
140	先生は、教える時間よりも、子どもに考えさせる時間を重視してほしい。 せんせい おし じかん よりも、子どもに考えさせる時間を重視してほしい。	自ら進んで考えることは大切です。皆さんが、学習内容に応じた疑問や課題を自ら発見し、その解決に向けて自ら考えるとともに、友達と意見を聞き合うなどの活動を通じて自分の考えを広げ、深めることができる授業を行っていきます。 みずか すず かんが たいせつ みな 自ら進んで考えることは大切です。皆さんが、学習内容に応じた疑問や課題を自ら発見し、その解決に向けて自ら考えるとともに、友達と意見を聞き合うなどの活動を通じて自分の考えを広げ、深めることができる授業を行っていきます。

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
基本施策2-3 教職員が力を発揮できる環境づくり (つづき)		
141	先生を増やすなどして、先生一人当たりの負担を軽減してほしい。 (類似意見2件)	先生の数、国が定める法律に基づいて決定しています。法律や関係する制度が変わらないと、先生を増やすことは難しいですが、今後も、先生を増やすことができるよう、国に対して要望していきます。
基本施策2-4 学びのセーフティネットの充実		
142	子どもの支援をしてくれたり、相談に乗ってくれたりする人がいたり、場所があったりするの はありがたいため、これからも続けてほしい。 (類似意見8件)	今後も、悩みや困りを抱えている子どもが、先生やスクールカウンセラーをはじめとした様々な大人に相談することができるよう取り組んでいきます。
143	自分から相談できない人の気持ちも考えてほしい。 (類似意見4件)	自分から相談できない子どもに対しては、先生やスクールカウンセラーが小さな変化に気づいて声をかけるようにしています。また、年に数回、子どもと面談する機会を設けるなど、悩みや困りを抱えている子どもが相談しやすい関わり方をしていきます。
144	いじめなどを見て見ぬふりをする先生や生徒がいなくなるとよい。 (類似意見1件)	いじめはどんなことがあっても許されるものではありません。学校では複数の先生がきめ細かく皆さんを見守ったり、アンケートなどで、いじめやそれにつながるきっかけを見付けたりしています。また、皆さんが日頃から自分の思いや考えを率直に表現することができるように、道徳科の授業などを通して、お互いを認め合うことのよさに触れる機会をつくっています。
145	学費が安くなるとよい。	札幌市には、経済的に困っている家庭に学費の一部を支援する「就学援助」という制度があります。今後も、可能な限り支援を続けていきたいと考えています。
146	返済しなくてもよい奨学金制度があるとよい。	札幌市には、能力はあるけれど経済的な理由で高校や大学に進むことが難しい方に返済の必要がない奨学金を支給する「札幌市奨学金」という制度があります。今後も、可能な限り支援を続けていきたいと考えています。

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
基本施策2-5 教育の情報化の推進		
147	授業でタブレット端末などのICT機器を活用するのはよいことであり、使いやすいものを整備してほしい。 (類似意見26件)	タブレット端末などのICT機器を活用することで、授業がより分かりやすくなることで期待できるため、これからも活用を進めていきます。また、整備するICT機器は、皆さんや先生方が使いやすいものにします。
148	デジタル教科書の活用により、先生の負担を減らすことはよい。	デジタル教科書は、拡大表示や動画再生など様々な機能をもっていることから、より分かりやすい授業を進めることだけでなく、先生方の教材を準備する負担を減らすことが期待できます。
149	かばんにたくさんの教科書を入れると重たくなるため、デジタル教科書を導入してほしい。 (類似意見3件)	デジタル教科書と紙の教科書のそれぞれのよさについて考えながら、皆さんがより使いやすい教科書を選んでいきます。学習用具の持ち運びについては、皆さんの大きな負担とならないように配慮していきます。
150	小学校段階からICT機器等を使うと、書く力が身に付かないため、中学校段階から活用するとよい。	書く力と同じように、情報を活用する力を身に付けることは大切です。ICT機器等の活用については、学習内容や場面などに応じて考えていきます。
151	ICT機器でインターネットを使うと、すぐに調べることができるが、辞典を使って上手に調べることができなくなるかもしれないため、ICT機器を使うのはたまにでよい。	辞典や教科書には正しい情報を知ることができるよさがあり、インターネットには素早く情報を知ることができるよさがあります。ICT機器等の活用については、学習内容や場面などに応じて考えていきます。
152	調べ学習に使用するため、放課後にコンピュータを使うことができるようにしてほしい。	調べ学習においてコンピュータを活用することは効果的です。しかし、コンピュータは安全な状況で使わなければならないので、放課後の活用については先生に相談してみてください。また、調べ学習では、図書館を活用することも効果的です。
153	委員会活動や行事などのために、先生だけではなく、子どももコンピュータを使えるようにしてほしい。	各学校のコンピュータ室などには、子どもが使うためのコンピュータが整備されています。コンピュータは安全な状況で使わなければならないませんが、どのような場面で使うと役に立つか、先生と相談してみてください。

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
基本施策2-5 教育の情報化の推進		
154	<p>授業でのICT機器等の活用には、授業が分かりやすくなったり、たくさんの情報を一気に扱うことができたりするなどのよい点もあるが、視力の低下や人の話に集中できないなどの心配な点もある。 (類似意見4件)</p>	<p>パソコンやタブレット端末を学習の中で上手に使うと大変便利ですが、使い過ぎると健康によくない影響が出てしまうことがあります。そのため、皆さんが学校で使うパソコンなどには、そうした影響が出にくいよう、ブルーライトの量を少なくする工夫などを行っています。</p> <p>また、人が話をしているときには、その人を見るなど、集中できるように気を付けることは大切ですので、ICT機器を使うときにはどのようなことに気を付けたらよいか、皆さんも考えてみてください。</p>
155	<p>デジタル教科書は、教科書の軽量化やペーパーレス化に役立つが、停電時には使えないこともあるため、ノートなどは紙のものがよい。 (類似意見3件)</p>	<p>デジタル教科書と紙の教科書には、それぞれによさがあります。それぞれのよさを生かしながら、より分かりやすい授業を進めることができるように、整備の仕方を考えていきます。</p>
156	<p>授業でコンピュータを使う回数が少ない。</p>	<p>皆さんの学習内容の理解をより深めるために、ICT機器等を使ったほうがよい場面とそうではない場面があります。ICT機器等の活用については、学習内容や場面などに応じて考えていきます。</p>
157	<p>校務支援システムによって先生の仕事が効率化される分、しっかりと子どもと向き合ってほしい。</p>	<p>先生が仕事で使うコンピュータや、皆さんの成績データなどを管理するためのシステムを整備し、先生の仕事の効率化を進めています。効率化によって生まれた時間は、子どもひとりひとりと向き合う時間に使えるよう工夫していきます。</p>
基本的方向性3 市民ぐるみで支え合う仕組みづくり		
基本施策3-1 園・学校と家庭、地域が支え合う仕組みづくり		
158	<p>たくさんの人が私たちの成長を見守ってくれているということが分かり、感謝の気持ちでいっぱいになった。 (類似意見1件)</p>	<p>札幌市には、皆さんの力になりたいと考えている方々がたくさんいます。新しいことに挑戦したいときや、困ったことがあるときには、信頼できる大人の方々に相談してみることも考えてみてください。</p>

No.	ご意見の概要 いけん がいよう	札幌市教育委員会の考え方 さっぽろしきょういくいんかい かんが かな
<b>基本施策3-1 園・学校と家庭、地域が支え合う仕組みづくり</b>		
159	平日の昼間に仕事をしている親は、学校の行事等に参加することが難しいため、参加しやすいように配慮したほうがよい。	保護者の方々に、皆さんが生きて学びたい姿を見てもらったり、学校の行事に参加してもらったりすることは大切です。できるだけ多くの保護者の方々が行事などに参加できるように工夫していきます。
160	ゲストティーチャーを活用した授業が増える とよい。 (類似意見1件)	授業のねらいに沿ってゲストティーチャーを活用することは効果的です。今後も、そうした機会が増えるよう工夫していきます。
161	学校に関わるボランティアに、多くの人に参加してほしい。 (類似意見1件)	学校の授業や行事などを支えるため、ボランティアとして多くの保護者や地域の方々、大学生などが関わっています。今後も、様々な人々に支えてもらえるよう工夫していきます。
162	学校の取組などを、家庭や地域などの様々な人に支えてもらうことはとてもよい。	皆さんの健やかな成長を願う気持ちは学校・家庭・地域共通のもので、今後も、学校の取組について家庭や地域の方々に積極的に伝えるなどして、学校・家庭・地域の連携を強めていきます。
163	不安や悩みを抱えている子どもを守るため、学校と保護者とが情報を共有するとよい。	今後も、保護者が相談しやすいと思える学校づくりを進め、子どもの不安や悩みを学校と保護者とが共有し、子ども一人一人をきめ細かく見守っていきます。
164	学校の子どもと、幼児を含めた地域の方々とはが ふれ合い、親しむことのできるような活動を増 やしてほしい。 (類似意見11件)	小・中学生が、幼児も含め地域の様々な方とふれ合うことは大切です。今後も、学習内容や場面に応じて、皆さんと地域の方々とはがふれ合うことができる取組を進めていきます。
165	初めての子育てをするときは、一人だと不安だ と思うので、子育てを経験した人や、地域の 方々に協力してもらうとよい。	保護者同士が交流したり、子育てについて自主的に学習する「家庭教育学級」や、子育てに詳しい方に子育ての楽しさ等について話をしてもらう「親育ち応援団講演会」を実施しています。初めての子育てに不安を抱える方にも、様々なアドバイスをもらえる機会として、活用してもらいたいと考えています。
<b>5 札幌市教育アクションプラン（後期）の成果指標</b>		
意見なし		

第5章 計画の推進に当たって

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
1	進行管理	
	意見なし	
2	市民及び関係機関等との連携・協働	
	意見なし	

その他（計画全般に関わることなど）

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
166	全ての取組に賛成する。	本計画に沿って、着実に教育施策を進めていきます。
167	計画について、目標があり、その実現のためにどのような取組をするのかが示されていて、わかりやすいつくりになっている。	今後も、札幌市の行う取組について、皆さんに分かりやすくお伝えできるよう工夫していきます。
168	札幌市教育振興基本計画について、初めて知った。子どもに対して、もっと知らせたほうがよい。 (類似意見 1件)	札幌市教育振興基本計画については、札幌市公式ホームページをはじめ、様々な機会を通じて、市民の皆さんに広く知ってもらえるよう考えていきます。
169	これまでの5年間での変化などを踏まえて、取組を見直していることがよい。	札幌市の教育をよりよいものとするため、これまでの5年間における様々な社会の変化や取組の成果、課題などを踏まえて、計画を見直しました。
170	この計画に掲載されている事業の具体的な内容やスケジュール、予算などが知りたい。	各事業の詳しい内容や札幌市全体の予算・決算などは、今回策定した「札幌市教育振興基本計画〈改定版〉」のほか、札幌市公式ホームページ、広報誌などでお知らせしていきます。ぜひ見てみてください。
171	幼児期から創造力を育む教育をして、将来、豊かな創造力を生かしてキッズコメントやパブリックコメントの際に、札幌のことを考えてもらおうとよい。	キッズコメントやパブリックコメントの際、札幌のことを考えてもらえるとうれしいです。今後も、札幌のよさを生かした、豊かな創造力を育む学習活動を進めていきます。
172	未来の大人である今の子どもたちの意見で、札幌市の取組を考えることができればよい。	キッズコメントでいただいた意見は、今後の札幌市の取組の参考にします。なお、教育委員会以外の部署でも、キッズコメントを実施する場合がありますので、札幌市公式ホームページなどで確認し、ぜひご意見を寄せてください。

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
173	子どもを対象とした取組を増やしてほしい。	今回策定した「札幌市教育振興基本計画《改定版》」には、教育委員会が実施している事業や取組の一部を掲載していますが、子どもを対象とした事業や取組は、掲載しているもの以外にもたくさんあります。今後も、皆さんが様々なことを学び、経験することができるような事業や取組を考えていきます。
174	学校に勉強道具を置いて帰ることができるようにしてほしい。	教科書などの学習用具は、いつでも使えるように常に手元にあることが望ましいですが、皆さんの健康を損なうことのないよう、登下校時の持ち運びの負担に配慮することも大切です。学校に学習用具を保管することについては、各学校で工夫しています。荷物が重いことによる健康面の不安がある場合には、先生に相談してみてください。
175	勉強道具を家に持ち帰る負担を考慮して、教科書の数を減らすとよい。	学校の授業で教科書を使うことは、法律で定められているため、数を減らすことはできませんが、学習用具の持ち運びが、皆さんの大きな負担とならないように配慮していきます。
176	学校を好きになることができるように、息抜きができる休み時間を増やしてほしい。	学校の日課は、皆さんが心身共に健康で、充実した学校生活を送ることができるよう、授業時間、休み時間、給食時間などのバランスを考えて各学校が決めています。今後も、皆さん一人一人が明るく元気に学校生活を送ることができるように考えていきますので、皆さんも、それぞれの時間のねらいを理解し、前向きな気持ちで過ごしてみてください。
177	鉛筆のほかに、シャープペンシルの使用も認めてほしい。 (類似意見1件)	シャープペンシルは、細かい文字を書くときに便利ですが、鉛筆は、ちょうどよい力加減で正しく美しい文字を書く力を身に付けるときに適しています。学校では、皆さんに付けてほしい力に応じて筆記用具を指定している場合があります。学校のきまりには理由がありますので、先生に相談してみてください。

No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
178	<p>体育や音楽、図工の科目は、テストの結果や成果物がみんなに公開されるから、選択制にするとよい。</p>	<p>音楽、図工、体育の三つの教科は、義務教育において必ず学習しなければならないことが国の規則で決められています。また、学習の成果は、ほかの人と比べるのではなく、自分自身にどのような力が身に付いたのかを自覚することが大切です。自分なりに努力して得られた成果に自信をもってください。</p>
179	<p>字を上手に書けないとからかわれてしまうため、習字の授業を増やしたほうがよい。</p>	<p>ほかの人が読みやすいように、正しく美しい文字を書くことは大切です。書写の時間だけではなく、どの教科の学習でも文字を書く機会がありますので、いつでも正しく美しく書くことを心がけてください。</p>
180	<p>放課後に学校の体育館を開放して、子どもが使えるようにしてほしい。 (類似意見1件)</p>	<p>学校の体育館を放課後に皆さんが使用する場合は、安全に使用できるかどうかを考えたければなりません。また、学校の体育館は、放課後、地域の人が運動するスペースとして開放しているほか、ミニ児童会館やスポーツ少年団などの活動で使用されています。こうしたことを踏まえると、難しい面もありますが、いただいたご意見を参考に考えていきます。</p>
181	<p>学校に遊具やボールが少なく、遊びにくい。</p>	<p>遊具やボールの状況は、それぞれの学校によって異なりますが、休み時間などで皆さんが遊ぶことができる環境がよりよくなるよう考えていきます。皆さんも、今ある遊具やボールで楽しく遊ぶために、様々な工夫をしてみてください。</p>
182	<p>子どもの学習場所として、使わなくなった施設を活用したり、学校の一部を開放したりしてほしい。 (類似意見1件)</p>	<p>閉校した学校の校舎や施設などをどのように活用するかについては、地域や建物の状況を考えつつ、皆さんや保護者、地域の方々からの要望を聞きながら検討を行っています。</p>
183	<p>保健の先生を増やしてほしい。</p>	<p>先生の数は、国が定める法律に基づいて決定しています。法律や関係する制度が変わらないと、先生の数を増やすことは難しいですが、今後も、先生の数を増やすことができるように、国に対して要望していきます。</p>



No.	ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
184	<p>学校を欠席した人が自宅で勉強できるように、スマートフォンなどにプリントのデータを送ることができるようにするとよい。</p>	<p>全ての人がパソコンやスマートフォンを持っているわけではないこと、授業で使った資料を電子メールなどで配るときには著作権に気を付ける必要があることなどから、欠席した人のスマートフォンなどにデータを送ることは難しいです。欠席した授業の内容は、その後出席したときに先生に教えてもらってください。</p>
185	<p>先生が力を発揮した授業をしても、そのペースについていけないこともあるため、補習をしたり、自習スペースを設けたりしてほしい。</p>	<p>放課後に自習スペースを設けたり、子どもの希望に応じて補習を行ったりしている学校もあります。今後も、皆さん一人一人の力に応じた丁寧な指導を行うよう工夫してまいります。</p>
186	<p>家庭学習について、意欲が高まるような工夫をするとよい。 (類似意見4件)</p>	<p>家庭学習は、自分から進んで取り組むことが大切です。今後も、皆さんの「家庭学習をやりよう」という意欲が高まるような授業となるよう工夫してまいります。</p>
187	<p>宿題について、習い事をしている人がいるということを考慮して、一人一人に応じた量にしてほしい。</p>	<p>宿題の有無や量にかかわらず、一人一人が学校以外の場でも進んで学習に取り組む習慣を身に付けることは大切です。習い事や宿題の時間を含め、自分の時間を上手に使うことができるよう工夫してみてください。</p>
188	<p>家庭学習で分からないことがあったときのために、一人一人がタブレット端末を持っていたほうがよい。</p>	<p>教育委員会が整備しているパソコンやタブレット端末は、学校での授業で使うことを目的としており、皆さんが安全に使えるように、学校以外のネットワークにはつなぐことができないようになっています。家庭学習で困ったことがあったら、自宅のパソコンやタブレット端末で調べたり、保護者に聞いたり、次の日に先生に質問したりするなどしてください。</p>
189	<p>豆知識に関するプリントや、中学3年生の受験期や高校に進学した後にも使えるプリントがあるとよい。</p>	<p>学校では、教科書や副読本のほかに、学習に必要な資料や、皆さんの学習の成果をまとめるワークシートなどのプリントを使っています。これらを、その後の学習でも活用できるように整理し、保管しておいてください。</p>

No.	いけん がいよう ご意見の概要	さっぽろしきょういくいいんかい かんが かな 札幌市教育委員会の考え方
190	がっこう つう ちゆう こ 学校を通じて申し込むことができる検定の種 るい ぶ 類を増やしてほしい。	けんてい さまざま 検定には様々なものがありますが、がっこう うけつけ を おこな うことのできるものにはかぎ がありま す。みな きょうみ かんしん おう じぶん けんてい 皆さんの興味・関心に心じて、自分で検定 の ちゆうしこ てつづ することも含めて ちゆうせん 申し込み手続きをすることも含めて挑戦して みてください。

【参考】

大人の方々からいただいたご意見と、それに対する札幌市教育委員会の考え方を、一部紹介します。

なお、いただいた全てのご意見は、下記ホームページで見ることができます。

- ◆ <http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/keikaku/ikenbosyu.html>

札幌市教育振興基本計画 パブリックコメント **検索**

ご意見の概要	札幌市教育委員会の考え方
<p>社会の変化に対応することは大切であるが、変化の激しい時代だからこそ、揺るがない信念をもつべきであり、10年間の教育ビジョンに基づき、地に足の着いた教育を展開し、「自立した札幌人」の実現を目指してほしい。</p>	<p>札幌市教育アクションプラン(後期)は、教育を取り巻く様々な現状を踏まえてまとめたものとなっています。札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」の実現を目指し、各施策を着実に展開してまいります。</p>
<p>子どもが読書をする機会を増やすべきである。</p>	<p>各図書館では、子どもが本に親しみをもって読書活動を行うことができるよう、発達の段階に応じた様々なイベントや展示を行っています。また、各学校では、学校図書館を活用した学習活動を進めるとともに、朝読書などの取組を進めています。今後も、こうした取組を通して、子どもが読書をする機会を充実させてまいります。</p>
<p>教職員の労働時間縮減に向けた取組以上に、教職員が自信をもって働くことができるような環境、雰囲気、社会全体に醸成する取組を実施するとよい。</p>	<p>全国的に、学校における働き方改革の要請が強まっていることなどを踏まえ、札幌市教育アクションプラン(後期)では、施策2-3-2「教職員が質の高い教育活動を実現できる環境づくり」を設定しました。教職員が自信をもって働くことができるよう、本施策を着実に展開してまいります。</p>
<p>公立夜間中学の設置を検討することは、とてもよい考えである。</p>	<p>公立夜間中学は、就学の機会を十分に得られなかった学齢層を過ぎた方々に対し、義務教育段階における普通教育相当の教育を受けられる機会を提供する場です。今後も、誰もが安心して学ぶことができるよう、関係機関と連携・協力し、検討を進めてまいります。</p>





＜札幌らしい特色ある学校教育のキャラクター＞

札幌の子どもたちが【雪】【環境】【読書】にかかわる学習に親しみをも  
 って取り組むことができるよう、2010年に誕生しました。

ねん がつほっこう  
 2019年3月発行

へんしゅう ほっこう  
 【編集・発行】

さっぽろしきょういくいんかいしやうがいがくしゅうぶ そうむ かきやういくせいさくたんとう  
 札幌市教育委員会生涯学習部総務課教育政策担当

〒060-0002 さっぽろしちゆうおうくた じやうにし ちやうめすすていぶいきた じやう  
 札幌市中央区北2条西2丁目STV北2条ビル

でんわばんごう  
 電話番号 (011) 211-3829 ファクス番号 (011) 211-3828



さっぽろ市  
 01-S01-18-2747